

大雨・台風等の災害に備えて

長与町自主防災組織連絡協議会

災害はいつ発生するか予測が付きません。思わぬ災害にも対処できるように、自分の身は自分で守ることを基本に、日頃から災害に対する備えと点検が必要です。

危険が迫ったときに、すぐ対応できるよう、次の事を心がけ、万一の場合に備えて下さい。

1. 大雨・台風がくる前に行うこと

(1) 気象情報に注意する

ア. 気象台発表の情報やテレビ・ラジオ等による気象情報に注意する。

イ. 警報発令時は長与町防災行政無線で放送を行います。

ウ. 一般的に、1時間に20mm以上、降り始めから100mm以上の雨が降り続いたら要注意です。

(2) 家の中や周囲の点検を行い、危険箇所は早めに修理や補強をする。

(3) 日頃から非常持ち出し品の準備をしておく。

※ラジオ・水・衣類・懐中電灯・救急用品など



(4) 安全で身近な自主避難場所を、あらかじめ決めておく。

※自治会の集会所、知人宅、公共施設など

(5) 避難所までの道順を確認しておく。



2. 自主避難を行う場合の注意点

(1) 避難するときは何人かまとまって行動する。また、お年寄りや子ども、病気、体の不自由な方の避難には協力する。

(2) 自治会の役員や、ご近所には避難先を伝えておく。

3. 普段の心構え

(1) 災害は突然やってきます。「自分の身は自分で守る」事を基本に、危険を感じたら早めに避難しましょう。

(2) 住んでいる場所(河川のそば、急傾斜地の下など)によって災害の起こり方は違ってきます。日頃から家族やご近所で、防災について話し合しましょう。



見える場所に貼っておきましょう